

解禁日時付

解禁日時	新聞	4/23 (火)	夕刊
	テレビ ラジオ インターネット	4/23 (火)	午前9時 以降

提供日 2024/04/16

タイトル 【共同研究成果を報告】
ヤマアラシ亜目における嗅覚・フェロモン・味覚受容体遺伝子の同調的進化
～グルメな動物は鼻も良い！？～

担当 スポーツ・文化観光部 ふじのくに地球環境史ミュージアム企画総務課

連絡先 企画総務班
TEL 054-260-7111



【共同研究成果を報告】

ヤマアラシ亜目における嗅覚・フェロモン・味覚受容体遺伝子の同調的進化 ～グルメな動物は鼻も良い！？～

(要旨)

宮崎大学農学部獣医学科新村芳人教授、国立遺伝学研究所小出剛准教授、ふじのくに地球環境史ミュージアム岸田拓士准教授（研究当時。現在は日本大学生物資源科学部教授）、京都大学野生動物研究センター村山美穂教授らは、ヤマアラシ亜目における嗅覚・フェロモン・味覚の受容体遺伝子は、進化の過程で、同調的に増えたり減ったりしていることを示しました。

本研究結果は、2024年4月23日に「Molecular Biology and Evolution」に掲載されます。

1 発表者

- ・宮崎大学 農学部：新村芳人教授
- ・国立遺伝学研究所 マウス開発研究室：小出剛准教授、Bhim B. Biswa氏（学生）、豊田敦特任教授、藤原一道特任研究員
- ・ふじのくに地球環境史ミュージアム：岸田拓士准教授（現：日本大学生物資源科学部教授）
- ・東京大学大学院農学生命科学研究科：東原和成教授、伊藤正人氏（研究当時：学生）
- ・京都大学野生動物研究センター：村山美穂教授、Scott H. Jenkins氏（学生）
- ・ガーナ大学 Christopher Adenyo博士、Boniface B. Kayang准教授

2 発表のポイント

- ・進化の過程で、化学感覚（嗅覚・フェロモン・味覚）の受容体遺伝子が同調的に増減していることを示した。
- ・進化過程における遺伝子の増減はフェロモン受容体が多くなり、嗅覚受容体がそれに次ぎ、味覚受容体は進化的にもっとも安定していることを示した。
- ・形態的・生態的に多様な齧歯類ヤマアラシ亜目に着目し、西アフリカで食用にされるグラスカッター（別名アフリカアシネズミ）の新規高精度ゲノム配列を決定した。

百年後の静岡が豊かであるために



広告

いこー
さあ、15!



おかげさまで開港15周年!

富士山静岡空港
Mt. Fuji Shizuoka Airport